

東北労働金庫「ろうきん地域貢献ファンド」 2010年度
Cコース（備品購入助成） 助成事業報告書

23年 4月 22日

団体名（ふりがな）	<small>こくさいこうりゅうきょうかい</small> 国際交流協会 <small>inなとり</small> ともだちin名取
購入物品名	ノートパソコン と A3対応プリンター
<p>助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。 （購入した物品の写真は必ず添付してください。）</p> <p>その①</p> <p>ともだちin名取 では ふくふくファンドのよるブログ講座にて 会の活動をブログで紹介してから、外部からの直接の問合せが増え 日本語講座の受講生増加となった。</p> <p>今夏その次の段階として、タイ語、韓国語、中国語などの外国語での発信をたく多言語に対応する新しいパソコンの購入をした。</p> <p>結果として、ブログにてタイ語での情報発信を早速加えることが出来 それを見てタイ人女性が日本語講座受講をしてくれた。</p> <p>その②</p> <p>経費節約のために行事ポスターなどを外注することなしに、A3用紙対応のプリンターにて 行事ポスターを作り 駅構内、公民館などに掲示して頂き情報を発信したく、A3用紙対応のプリンターを購入をした。</p> <p>国際交流合宿のポスターを見て、興味を持ち行事参加者が増えた。 これまではA4までのCPでポスターの代わりをしていたので、A3サイズのカラーのポスターはとても効果的だった。</p>	

助成金を使って購入した物品の活用状況について、記述してください。(続き)

しかし、残念ながら報告もあります。

この度の平成 23 年 3 月 11 日の東北大震災により、私たちの事務所をお借りしている名取市市民活動支援センターが被害にあい、ともだち in 名取の事務所は被災した。幸にも事務処理中だった副会長は大きな怪我はなく、脱出したものの、ロッカーが倒れ、事務室机の上のあったノートパソコンは床にたたきつけられ破損。

そして、プリンターは床に落ち、双方ともに修理不能である。

ろうきんファンド関係者さまのご厚意で購入して頂いたものなのに、このような結果になり申し訳ないこととなりました。

しかし、短期間ではありましたが、約 1 年間の使用で、多くの書類を作成することが出来、このパソコンのお蔭で、宮城県国際交流協会の基金からの助成 12 万円。名取市男女共同参画室協働提案事業から 50 万円。などの助成金を獲得するもとなる書類の作成、報告書の作成に大いに役立ちました。また、文化庁の日本語講座への助成 84 万円が決定したのもこの PC にて写真などを取り入れた企画書が認められたものと確信いたします。それらの機器によりおよそ 150 万円を生み出しましたことをここにご報告いたします。(3 月 11 日の震災を踏まえ当会は、この協働事業の 50 万円については辞退をし、名取市の復興への活動に使うと連絡しました)

この他に、せんだい・みやぎ NPO センターから物資支援で、5,000 円でお譲り頂いたノートパソコンも破損致しました。4 年間かかりこれまでに蓄積してきた活動の記録や、物品がたった一度の揺れで失われてしまった衝撃から簡単には立ち直れませんが、その間の活動で出来た人間関係で、被災者の支援という新しい活動を初めて 40 日が過ぎました。

私たちも 活動を支援して下さっていた協賛会員の方々と悲しい別れが続きました。今出来ることは、その方々への気持ちを、残された被災者の方々への支援という形でお返ししていくしか出来ないと、心の支えになればと日避難所に通っております。

上記のような事情で使っている写真の CD もメモリースティックも立ち入り禁止の名取市市民活支援センターの事務室の倒れたロッカーの中なので、一度 PC など使えるのでは?と市役所の許可をもらい立ち入った時に携帯で撮った写真のみ添付します。

その後の 名取第 2 中学校体育館での我々の活動の様子を少し付け加えます。もし、データを救えたら 作成した報告書も既にその中にあるので、改めて差し替えますが、その可能性も小さいと思うので本日締切なのでこの報告書を提出します。



右奥が床から拾ったプリンターです

こちらは床に落ちた PC の上に倒れた本棚

今回の物品購入によって、団体の活動や地域社会にどのような成果・効果がありましたか

パソコンは破損してしまいましたが、そのパソコンで作ったブログにて、震災後、電気が通じるようになった日から被災地の状況を伝えるべく 情報発信に努力しました。全国からかかる検索の電話に対し、避難所の名簿で可能な限り確認をすすめました。

また、名取市の各避難所の状況を情報交換して 物資の不足するところに、子供のおむつ、老人のおむつ、女性用ナプキン、尿漏れパットなど、適材適所の移送を手伝いました。

そして、独自の支援者の呼びかけ、杖の必要な方々に1時間で杖を集めてくる。冷え込んできた雪が降る日に夜までに、キャンプ用のマットを避難所の全員分集めて運び込みました。その後、少し落ち着いてきて 女性が今一番欲しいのはエプロンという声にも対応して近隣からその日のうちに30枚集めてくれたPTAがありました。翌日、ともだち in 名取の資金でエプロンを約3万円分購入し必要枚数揃えました。徐々に我が広がり全国から心のこもった手作り割烹着を届けて頂くことも出来、それも、これもインターネットで人々と繋がる事が出来たからできたことです。

失った友人。失った財産。数限りない。
だが、この被災により得たものもあります。

それは 一人では耐え難いことも 人と繋がることで 共に歩めることを知りました。毎日避難所の方々から沢山のことを教えて頂いています。本来の外国人への支援と全く同じです。困ったことにたいして 対策を考える・・・そこが第一歩！！それもこれも 支えて下さる方々がいるから私たちも被災されたかたを支えられます。私達も軽度の被災者だからこそ親身になれるのだと思いました。

今回購入した物品を活用して、今後、事業をどのように展開していきますか
また、その際に必要なものは何ですか
今度はプロジェクターを準備して活動を広く知ってもらうための広報活動に力を入れる予定でした。しかし、今は立ち止まったままです。



避難所でラジオ体操する会員



お話をしながら肩もみする学生会員

・・・・・・・・出来ることから少しずつ進むつもりです・・・・・・・・

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ろうきん地域貢献ファンド助成金	100,000	10/7 東北労働金庫
自己資金	34,800	
合計	134,800	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
ブラザーA3対応プリンター及びN EC LA150/BノートPC	134,800	ケーズデンキ
合計	134,800	

<ろうきん>へのメッセージをどうぞ。

こちらは避難所の方の逃げるとき乗り捨てた車を取りに行ったときの写真です。

ガソリンは勿論 タイヤなど使えるものは全て抜かれていました。そんな中少しでもお役にたてるよう日々努力中です。



だから、今は復興支援メインの活動となっています。

助成して下さった皆様には本当に申し訳ないことになりすみません！